

第七十二回 帝國議會院
衆議院
米穀ノ應急措置ニ關スル法律案外一件委員會議錄(速記)第三回

第七十二回 帝國議會衆議院

會議

昭和十二年九月七日(火曜日)午前十時四十
五分開議

出席委員左ノ如シ

理事伊藤東一郎君 理事森幸太郎君
理事小串清一君 理事野中徹也君

西村井源氏
高田 稲之
手代木隆吉君

文書

卯尾田毅太郎君

山田
六郎君

高見 之通君
馬岡 次郎君

上田 孝吉君
山川頼三郎君
西川 貞一君
國光 五郎君
東郷 實君
一ノ頼斐民君

一ノ瀬修良君
東郷實君

守屋
榮夫君

杉山元治郎君 三宅 正一君
川俣 清音君 田中 耕君

小野謙一君

付託議案
米穀ノ應急措置ニ關スル法律案
(政府提出)
臨時肥料配給統制法案(政府提
出)

10

拜承致シマシテ、是ナン軍國日本ノ誇デアリ、立憲政治ノ華デアルト心窃ニ感激ヲ致シテ居ル者デゴザイマス、農林當局ハ曩ニ事變ノ擴大ニ伴ヒマシテ、農山漁村出征兵士ニ銃後ノ憂ナカラシムル爲ニ、出征者ヲ出シタ農山漁村ニ對スル方策トシテ、其要綱ヲ細々ト去月六日地方長官ニ發セラレマシテ、或ハ新聞ニ依ッテ之ヲ知リ、或ハ傳ヘニ依ッテ之ヲ知リマシタ所ノ農山漁村ノ壯丁ハ、定メテ感激、興奮、奮起致シタコトデゴザイマセウ、惟ニ今回ノ事變ハ、日支ノ全面的抗爭ト云フ意味デ、我國未會有ノ大事件デアリマス、而シテ或ハ可ナリ長期ニ亘リマシテモ、所期ノ目的ヲ達成スル迄ハ、ドンナ犠牲ヲ拂ヒマシテモ戰ハネバナリマセヌ、隨ヒマシテ官民共ニ不撓不屈ノ努力ヲ要スルコトハ、今更私ガ申上ゲル迄モアリマセヌ、日露戰爭ノ當時ニ明治大帝陛下ハ、「コラヘ皆軍サノ庭ニイデハテテ翁ヤヒトリ山田守ルラム」ト云フ御製ヲ遊バサレマシタ、如何ニ大帝陛下ガ兵士

ノ家庭ニ付キ、深キ大御心ヲ以テ憫マセラレシカラ拜承致シマシタコトハ、今尙ホ國民ノ記憶ニ新ナル所デアリマス、國民皆兵制度ノ下ニ於ケル我國ニ於キマシテハ、貴賤貧富ノ別ナク、齊シク報國ノ爲戰場ニ立タレテ居ルノデアリマスルガ、一家經濟ノ支柱タルベキ壯丁ノ出征ノ爲ニ、一人翁ヤ姪ヲシテ厭世ニ泣カシムルガ如キコトガアツヘ、斷ジテ相成ラヌノデアリマス、農山漁村ノ總本山デアリマスル所ノ農林當局ニ於カレマシテ、何卒是等出征兵士ノ銃後ノ後援ニ付キマシテハ、如何ニ戰爭ガ長引キマシテモ中折レスルコトナク、萬違算

ノコトハ、私ハ食糧問題、所謂日本ノ戰時ニ於ケル食糧ノ獨立ト云フ點ハ、殊ニ注意ヲ爲サナケレバナラヌ點ダト思フノデアリマス、歐洲大戰ノ當初ニ於キマシテ、獨逸ガ英吉利ヲ食糧封鎖セント致シマシタ同ジヤウニ、日本ハ英吉利ト其島國デアルト云フ點ニ於テ、多少ノ事情ヲ同ジクシテ居リマス、先般、前議會ニ於キマシテ、高橋代議士ガ豫算總會ニ於テ御述ベニナリマシテ、第一條第一項ニ依リマシテ之ヲ勅令ニ付キマシテ定メラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ勅令ノ内容ヲ承リマスト、其勅令事項中ニハ、之ヲ法律ヲ以テ規定スルノガ適當ト認メラレルモノガアルノデアリマス、手續上或ヘ勅令デ御ヤリニナツタ方ガ、事務執行上御便宜デアルカモ知レマセヌケレドモ法ノ精神カラ申シマシテ、是ハヤハシタ、御説ノ點ハ能ク拜承致シマシタ、私共之ヲ前例トシテ、何時モ斯ウ云フヤウナヤリ方ヲスルト云フヤウナ事ヲ、決シテ考ヘテ居ル譯デハナノデアリマシテ、其點ハ斯ル場合ニ於ケル已ムヲ得ザルニ出タモノダト云フ點ニ於テ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○有馬國務大臣 只今ノ御意見ハ洵ニ適切デアリマシテ、御同感ニ堪ヘナイノデアリマス、私共ト致シマシテハ、此戰地ニ向ヒマシタ應召軍人ノ銃後ノ護リヲ遺憾ナカラシムル爲ニ、出來得ル限りノ手段方法ヲ講ジナケレバナラナイト云フコトヲ考ヘマシテ、今後ニ於キマシテ、長期ニ亘リマスレバ、尙更其事ニ付テ遺憾ノナイヤウニ努メタイト考ヘテ居リマス、ソレニ付キマシテ

私共ト致シマシテ、足リマセヌ點モ多々アラウト思フノデアリマシテ、是ヘ直接間接ニ各方面ノ方々ノ御援助ヲ得マスコトヲ、此機會ニ於テ御願ヲ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、尙ホ一言申上ゲテ置キタイコトハ、私ハ食糧問題、所謂日本ノ戰時ニ於ケル食糧ノ獨立ト云フ點ハ、殊ニ注意ヲ爲サナケレバナラヌ點ダト思フノデアリマス、歐洲大戰ノ當初ニ於キマシテ、獨逸ガ英吉利ヲ食糧封鎖セント致シマシタ同ジヤウニ、日本ハ英吉利ト其島國デアルト云フ點ニ於テ、多少ノ事情ヲ同ジクシテ居リマス、先般、前議會ニ於キマシテ、高橋代議士ガ豫算總會ニ於テ御述ベニナリマシテ、第一條第一項ニ依リマシテ之ヲ勅令ニ付キマシテ定メラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ勅令ノ内容ヲ承リマスト、其勅令等ニ對シマスカ、會社ト申シマスカ、是合ト申シマスカ、等ニ對シマス政府ノ監督條項ニ付キマシテ、第一條第一項ニ依リマシテ之ヲ勅令ニ付キマシテ定メラレルコトニナツテ居ルノデアリマス、此ノ勅令ノ内容ヲ承リマスト、其勅令事項中ニハ、之ヲ法律ヲ以テ規定スルノガ適當ト認メラレルモノガアルノデアリマス、手續上或ヘ勅令デ御ヤリニナツタ方ガ、事務執行上御便宜デアルカモ知レマセヌケレドモ法ノ精神カラ申シマシテ、是ハヤハシタ、御説ノ點ハ能ク拜承致シマシタ、私共之ヲ前例トシテ、何時モ斯ウ云フヤウナヤリ方ヲスルト云フヤウナ事ヲ、決シテ考ヘテ居ル譯デハナノデアリマシテ、其點ハ斯ル場合ニ於ケル已ムヲ得ザルニ出タモノダト云フ點ニ於テ、御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○森委員 只今農林大臣ヨリ、將來ニ對シテ責任アル御辯明ヲ得マシテ、満足致シタ次第デアリマス

○高田委員 私ガ發言セヌデモ大臣ノ方カ

ラ御答辯ガアルコト思ツテ居リマシタガ

即チ昨日伺ツタ國民負擔均衡ノ意味ニ於テ

ノ税制整理、是ハ前議會ニ於テ大藏大臣ハ豫算總會ニ於テ、或ハ本會議ニ於テ、必ズ來議會マデニ成案ヲ得テ提案ヲスルト云フ御聲明ガアッタノデゴザイマスガ、我國ノ現狀ヨリ、又事變ノ一大發展ヨリシテ多少——必ズ實行シテ貫ハナケレバナラヌ問題デアルケレドモ、果シテ政府ガ前議會ニ於ケル聲明ヲ實行スルコトガ出來ルカドウカト云フコトニ付テ、尙ホ御明答ヲ得ルノ必要アッテ、昨日大臣ニ伺ッタノデアリマス、其點ニ付テ大藏大臣ト御相談ノ上、政府ヲ代表シテ御答ガアル筈デゴザイマスカラ、先づ以テ其點ニ對スル大臣ノ御答ヲ得タイト思ヒマス

○有馬國務大臣　甚ダ申遲レマシテ、只今御答ヲ致サウト思ッテ居リマシタ時ニ、高田サンカラ再び御尋ヲ蒙リマシテ甚ダ恐縮ニ存ジマス、先般御尋ニナリマシタコトハ、大藏大臣ノ意向ヲ尋ネマシテ御答ヲ致シマス、實ハ昨日豫算總會ニ於キマシテ、御質問ニ對シテ、總理ガ答辯ヲナサル委員會ニ於テ負擔均衡ノ問題ニ付テ、十分ニ研究ヲシ調査ヲシテ居ルト云フ意味ノコトヲ御述ベニナリマシタ、又大藏大臣ノ意向ヲ尋ネマシタ結果ハ、前議會ニ於テ言明サ

レマシタ通り、負擔均衡ノ問題ハ極メテ重要ナコトデアル、又其必要ハ十分ニ認メルノデアリマスノデ、其方針ニ何等ノ變リモノ、其主義ノ下ニ今進ミツ、アルト云フコトニ、何等ノ變化モナイノデアリマス、唯御承知ノヤウナ周圍ノ情勢ニナッテ參ッテ居リマスノデ、果シテ前ニ考ヘテ居リマシタ通リノコトガ、其儘實現シ得ルカドウカト云フコトニ付テハ、今ハッキリ申上ガルコトハ出來マセヌガ、主義方針ニ於キマシテハ、前議會ニ答ヘラレタ所ト何等ノ相違モナク、目下其方針ニ向ツテ進ミツ、アルト云フコトヲ、御答申上ガタイト思ヒマス

○高田委員　サウ云フ御答デアルト、前議會ノ聲明ト大分變ッテ居ルヤウニ私ハ察セザルヲ得ナイノデアリマス、併ナガラ國民負擔均衡ノ問題ハ、是ハ事變ガ擴大スレバスル程、國民ノ負擔ガ増額スレバ増額スルニ從ツテ、負擔ノ均衡ヲ切實ニ要求セザルアリマスカ

○高橋委員長　高田君ニ申上ガスガ、當局ヨリ委員長ノ手許マデ適當ノ機會ニ於テ、御説明申上ガタイト云フ申出ガアリマス、此場合當局ノ御説明ヲ願ッタラ如何デガナイト云フ意味トハ違フ、設備ハ澤山アルノデハナイカ、私ハ中央產業組合新聞ト云フ新聞ヲ只今一寸見マシタ、ソレヲ見ルトスウ云フコトガ書イテアリマス、是ハ昭和肥料ノコトデアリマスガ「最近デハ水ノ電解ニ通スル五萬五千「ボルト」、六千六百キロノ變流器十臺ノ内僅カ二、三臺シカ動イテ居ナイコトハ事實デ」此コトヲ三宅君ガ言ッタンダラウト思ヒマス「コレハ東電

ニ於テ、其他ニ於テ、今尙ホ偏重ナル負擔ニ苦シ居ルノデアリマスカラシテ、農林大臣トシテ其點ニ付テ今後國民負擔ノ均衡、即チ農村民ノ負擔ノ偏重ヲ矯正スルト云フコトヲ、如何ナル場合ニ於テモ御忘レナク進マレンコトヲ要望スル次第デアリマス、是ガ全農村民ノ農林大臣ニ對スル極メテ強キ

○高田委員　實ハ此處デ三宅君ト私トデ、應答スル譯ニモ行キマセヌカラ、昨日増產ノ餘地アリト此處デ大體ニ於テ立證サレタラ次ニ昨日ノ引續ノ問題、是モ實ハ商工當局カ農林當局カラ、私ガ更ニ質問セヌデモ御答辯ガアル筈ト思ッテ居リマシタガ、御答辯ガアリマセヌカラ更ニ質問致シマス

○高橋委員長　高田君ニ申上ガスガ、當局ヨリ委員長ノ手許マデ適當ノ機會ニ於テ、御説明申上ガタイト云フ申出ガアリマス、此場合當局ノ御説明ヲ願ッタラ如何デガナイト云フ意味トハ違フ、設備ハ澤山アルノデハナイカ、私ハ中央產業組合新聞ト云フ新聞ヲ只今一寸見マシタ、ソレヲ見ルトスウ云フコトガ書イテアリマス、是ハ昭和肥料ノコトデアリマスガ「最近デハ水ノ電解ニ通スル五萬五千「ボルト」、六千六百キロノ變流器十臺ノ内僅カ二、三臺シカ動イテ居ナイコトハ事實デ」此コトヲ三宅君ガ言ッタンダラウト思ヒマス「コレハ東電

カラノ電力供給ガ少イコトヲ物語ルモノデ
アラウ、工場側ノ説明ニ依ルト、餘剩電力
ノミ供給サレルナラバ「キロワット」時四
厘カ五厘位デ濟ムガ、サウデハナイノデ、
一年ヲ通ズルト七厘五毛位ニナルト云フ話
デアル、所デ工場消費電力ノ八割五分ガ水
素電解、即チ水素ノ製造ニ使ハレ、硫安ノ
製造費カラ見ルト、肥料トシテ役立タヌ水
素製造ガ生命デアル、此二厘五毛ノ差ハ、
硫安生産費廻當リ十圓位ノ違ヒデアルサウ
ダ、ソコニ第一次、第二次ノ増産計畫ニ「コ
ークス」ヲ原料トスル水成瓦斯法ガ採用サ
レタ理由ガアル云々」斯ウ云フコトガ書イ
テアルノデアリマスガ、電力サヘ供給出來
レバ、アルノデハナidesカ、設備ガナイ
ト云フコトハ、アナタ方ノ御考ガ違フノデハ
ナイカト思ヒマスケレドモ、ソコデ私ハ斯
ウ云フコトヲ考ヘル、ソレハ昨日モ何カ例
ノ御計畫ノ中ニ、外國カラ買入レル硫安ニ
給金ヲ出スト云フナラバ、内地ノ製造工場
デ、或ル程度ノ増産ヲスレバ、其増産シタモ
ノニ對シテ、十圓トカ十五圓トカ云フヤウナ補
給金ヲ出スト云フナラバ、内地ノ製造工場
國家ガ出スト云フコトニスレバ、増産ガ出
來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ申上ゲ
マシタガ、此部分ナドハソレニ該當スルモ

ノデハナイカト思フ、電力料ガ高イカラ結局高イ生産費ニナッテ、硫安ノ生産費ガ高クナルガ、電力ガ安クナルカ、或ハ國家ガ或ル程度ノ補償ヲスレバ、引合フト云フ工場ガ、他ニアルノデハナイカト思フ、若シ此新聞ニ言フコトガ全然虚構ノ事實デアルトトカ、或ハ又三宅君ノ言フコトガ間違ツテ居ルト云フコトナラバ、是ハ仕方ガアリマセヌガ、新聞モ事實デアリ、三宅君モ正確ナコトヲ此委員會デ言ウタトスレバ、是ハ私ハ唯モウ内地ニハ製造能力ガナイト云フコトダケデハ、少シドウモ當局者ノ見ル所ガ誤ツテ居ルノデハナイカト思フノデスケレバドモ、ソレハ成程外安ヲ買ツテ、ソニニ補償金ヲ出セバ間ニ合ヒマセウガ、併シソレハ馬鹿々々シイ話デアリマス、十万瓈買ヘバドウナリマスカ、百圓トシテモ千万圓ニナルノデハナイカト思ヒマス、内地デ出來レバソレガ防ゲルト云フコトデスカラ――是ハアナタ方ノ調デハ、新聞ノ記事モ嘘、三宅君ノ言フコトモ嘘、十圓カ十五圓ノノデアリマスカ、是ハエライ問題デアリマス、私ハ何モ當局者ヲ責ヌル譯デモナイノデスガ、瓈當リ十圓ノ補償ヲ國家ガ出シテ

モ、外安ヲ買ハナクテ濟メバ、是ハ國家的ニ見テ有利デアルト思フノデスガ、ドウデセウカ、能ク一ツ御相談ノ上ニ御答辯アルノデスカ、此記事ヲ見ルト、他ニモアルヤウニ私共思ハレマス、私共ハ硫安製造ニ關スル知識等ハ極メテ少イノデアリマス、故ニ私共ノ言フコトガ或ハ誤ツテ居ルカトモ存ジマスガ、ドウモ私ハ餘地ガアルヤウニ存ジマス、又一面カラ言フト、昭和肥料ハ増産計畫ヲシテモ、製造組合デ之ヲ抑ヘテ居ルトカ、或ヘ其他ニモ硫安製造ヲ爲サントシテモ、現在ノ製造組合ガ抑ヘテ居ルト云フコトハ、遺憾ナガラ事實ラシイ、此國家非常時ニサウ云フコトハナイト思ヒマスガ、ドウモ、私利一方ニ偏スル當業者ニハ、ソンナ卑劣ナ考ヲ持ツテ居ル人ガアルコトヲ國家ノ爲ニ遺憾ニ思フガ、ソンナコトガ耳ニ入ル、斯ウ云フコトヲ考ヘタ場合ニ於テ、若シ出來ルコトナラバ、一万廻デモ二万廻デモ、多少政府ガ犠牲ヲ拂ツテモ、出來ルモノナラバ之ヲヤラセルト云フコトガ、國家的ニ利益ガ多イカト思ヒマスカラ、此事ハ一ツ大臣ニ於カレマシテモ、——大臣ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居ラツ

○黑田政府委員 只今

シヤルカ知ラヌガ、昨日大臣ノ居ラレマセ
ヌ際ニ、局長ハ絶対ニ増産計畫ハ設備ガ
ナイト言ハレタ、是ハ大變ノ問題デス、能
ク一ツ國家ノ爲ニ親切ニ考ヘテ、御答辯ヲ
願ヒタイト存ジマス——昨日ノ關係モゴザ
イマスカラ、先ヅ一應商工省ノ統制局長力
ラデモ——此事ノ分ル人ガ宜イ、本當ノコ
人デハ困ルカラ、分ル人ガ宜イ、本當ノコ
トヲ言ツテ貰ヒタイ、嘘ヲ言ツテハイケマセ
ヌ、昨日ト合ハヌコトヲ言ツタラ、役人ノ
體面ヲ汚スカラ、其言ツタ通リヲ言ヘト云
フノデ、本當ノコトヲ言ハナイデ嘘ヲ言フ
コトガアリマスガ、ソレデハ困ル、本當ノ
コトヲ言ツテ貰ヒタイ

ルノデアリマスガ、併シ全體トシマシテ、
硫安ヲ造ル設備トシテハ、遊ンデ居ルト云
フヤウナコトニハナラナイヤウニ、承知致
シテ居ルノデアリマス、尙ホ御話ニナリマ
シタ昭和肥料ノ問題デゴザイマスガ、是ハ
御承知ノヤウニ、現在昭和肥料ニ於キマシ
テハ、電力ノ値段ノ關係カラ致シマシテ、
今度石炭法ニ依ッテ硫安ヲ造ルト云フ 設備
ヲ致シテ居リマシテ、現在其方ニ切替ヘル
ヤウナ事情ニアルヤウニ聞イテ居リマス、
過渡的ノ問題ト致シマシテ、或ハ其水素ヲ
造ル電解ノ設備ノ方ガ剩ツテ居ルト云フヤ
ウナ形ニナツテ居ルカモ知レマセヌガ、サ
レバト申シマシテ、ソレヲ直グニ勵カシ
テ、硫安ノ増産ヲ圖リ得ルト云フヤウナコ
トニナルカドウカ、是ハ他ノ設備ノ關係モ
アリマスノデ、一概ニハ申上兼ネルノデハ
ナカラウカ、唯高田委員ノ御話ノゴザイマ
シタ點、御趣旨ニ付キマシテハ、吾々ト致
シマシテモ、十分考究スペキ問題ト存ジテ
居リマスカラ、實際問題ト致シマシテ、現
在何カサウ云フ餘力ノアルモノガアリマス
ナラバ、之ヲ働カスト云フ點ニ付キマシテ
ハ、是ハ十分研究致シタイト存ジテ居ルノ
デゴザイマスガ、實際ノ製造設備等ノ關係

ニ在ルノデハナカラウカ、斯ウ云フ風ニ承
知シテ居リマスカラ、御参考マデニ申上ゲ
テ置ク次第デアリマス、尙ホ組合デ増産ヲ
抑ヘルト云フヤウナコトヲ、ヤッテ居ルノ
デハナカラウカト云フ御話ガゴザイミシタ
ガ、ソレハ、サウ云フ事實ハ無イノデゴザ
イマス

メマセヌケレドモ——故ニ若シ此新聞ニ
アルヤウナ事實、只今黒田君ノ御答辯ノ通
リニ電氣ヲ廉クスル、言葉ヲ換ヘテ言ヘ
バ、國家ガ幾ラカ十圓ナリ十五圓ナリ補助
ヲスルト云フヤウナコトニスレバ、出來ル
餘地ガアルト云フサウ推定スルコトハ無理
カラヌヤウニ思ヒマスガネ、若シサウ云フ
餘地ガアリマシタナラバ、能ク一ツ各方面
トモ、各會社トモ交渉サレマシテ、全ク輸
入シナイデ濟ムモノデス、サウシテ國際貨
借ニ重大ナル影響ヲ及ボスト云フコトハ、
是ハ避ケナケレバナラヌコトト信ジマスカ
ラ、ドウゾ是ハ農林大臣、商工大臣、其點
ニ能ク御注意遊バシテ、サウシテ成ベク輸
入ヲシナイデ、内地ニ餘地ガアルモノナラ
バ多少ノ補給金ヲ出シテモ、増産ヲ獎勵ス
ルコトヲツ御願シタイト思ヒマス、此點
ニ付テ大臣ノ御答ヲ願ヒマス

副ツテ行カナケレバ、ナラトヌト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、疏安ノ不足ノ爲
ニ萬已ムヲ得ズ執ラントスル事ナノデア
リマスカラ、ソレガ他ノ方法ニ依ツテヤリ
得ル餘地ガ假ニアルト致シマスナラバ、ソ
レニ付テ十分ニ考ヘルコトハ當然ダト考ヘ
マスノデ、能ク商工大臣ノ意見ヲ聽キマシ
テ、相談ヲ致シタイト思ヒマス

副ツテ行カナケレバナラトヌト云フコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、疏安ノ不足ノ爲
ニ萬已ムヲ得ズ執ラントスル事ナノデア
リマスカラ、ソレガ他ノ方法ニ依ツテヤリ
得ル餘地ガ假ニアルト致シマスナラバ、ソ
レニ付テ十分ニ考ヘルコトハ當然ダト考ヘ
マスノデ、能ク商工大臣ノ意見ヲ聽キマシ
テ、相談ヲ致シタイト思ヒマス

外ノ大臣ト違ツタ御答辯デモアルト困リマ
スカラ、唯此コトダケヲ申上ダマシテ、サ
ウシテ各省トモ御相談ノ上ニ、同一ナル意
味ニ於テノ答辯、即チ支那事變終了トハ
如何ナルコトヲ言フノデアルカト云フコト
ヲ、御相談ノ上ニ適當ノ時期ニ、御答辯ヲ
願ヒタイト思ヒマス、是デ私ノ質問ヲ終了

イト存ジマス、米ニ關係スル配給ノ調節ト、ニ於テ最モ重大デアルト存ジテ居リマス、隨テ今回ノヤウナ事變ニナラザル 以前ニ於テモ、米ヲ繞リマシテ各種ノ問題ガ起ツテ來テ居ツタ、事變ガ起リマスレバ 尚ホ一層、只今大臣モ食糧問題ハ重大デアルト云

ルニ拘ラズ、昨日ノ農林大臣ニ對スル私ノ、是等ノ農林省所管ニ關スル米ノ問題ノ調査會ニ付テ、成案ヲ速ニ得ラル、モノガアルナラバ、次ノ通常議會ニ御提出ニナッタラドウデアルカト云フ質問ニ對シテ、如何ナル誤解ノ下デアツカ知レマセヌガ、レナイト云フヤウナ消極的、稍否否定的ナ

リ、委員ヲ任命シテ調査致シマスコトヲ、
單ナルオ座ナリトンテ、形式的ニヤルト云
フヤウナ考ヲ毛頭持ツテ居ル譯デハゴザイ
マセヌ、其調査會ニ於テ適當ナ案ガ作ラ
レ、而モソレガ通常議會ニ提出シ得ルヤウ
ナ情勢デアリマスナラバ、無論其コトニ敢
テ反対スルトカ、消極的ニ出サナイ意思ガ
アルトカ云フ意味デハナイノデアリマス、

○有馬國務大臣 只今ノ高田サンノ御尋ノ
コトハ、先程アチラデ其話ガ出マシタノ
デアリマシテ、豫算總會ハ勿論各委員會ニ
於テ區々ナ答辯ガアツテ、疑義ガアツテハ
イケナイト云フ話デ、大變困ルカラ何トカ
政府トシテハキリシタコトヲ言ツテ貰ヒ
タイト云フ御注文ガアリマシタ、ソレデ相
談ヲ致シマシテ、法制局ノ意見ヲ本トシテ
今文書ニ纏メテ、或ハ總理カラ言ハレマス
カ、誰カカラ其コトヲ豫算總會ノ機會カ何
カニ於テ述べラレテ、區々ニナラナイヤウ
ニスルコトヲ今相談ヲ致シテ居ツタヤウナ
次第デアリマス、御諒承ヲ願ヒマス

ト存ズルノデアリマス、ソコデ政府ニ於テ
ハ配給調節ニ關シ、或ハ配給ノ問題ハ、重大デアル
シ、ソレドヽ委員會ヲ設ケラレテ居ルノデ
アラウト思ヒマス、其調査委員會ガ設ケテ
アルト致シマスルナラバ、從來ノ我國ノ食
糧、特ニ米ニ關シマスル各種ノ問題ニ付
テ、更ニ事變ガ起リマシテ、變化スベキ必
要ガアルナラバ之ニ準據シ、又事變後ノ見
透シニ付テモ考ヘラレマシテ、是等調査會
ニ於テ出來ルダケ速ニ成案ヲ得ラレテ——
是等ノ調査會ヲ單ナル有名無實ナ申譯のノ
モノニセナイデ、速ニ成案ヲ得ラレテ、以

ル御答辯ノアツカコトヲ私非常ニ遺憾ト存ズルノデアリマス、農林大臣ハ果シテ是等
米ニ關スル配給調節、配給ノ新機構、或ハ
價格ニ對スル問題等ノ調査會ヲ、如何ニ
御考ニナツテ居ルノデアルカ、又此調査會
ニ付テ速ニ成案ヲ得ラレテ、以テ次ノ議會
ニ提案シヨウト云フ誠意ト御決意ヲ、御持
チニナツテ居ルノデアルカト云フコトヲ承
リタイト思ヒマス、御返事ガナケレバ、私
ハ、事變デアリ、非常時デアレバアル程、
政府ハモウ少シ精勵其ノ事ニ御當リニナラ
ンコトヲ、御警告申上ゲテ置キタイト思ヒ

唯私カ申上ゲマシタコトノ中デ、或ハ解釈
ヲサレタカト思ヒマス點ハ、米ノ配給調節
等ニ關シテ、斯ウ云フコトヲシナケレバナラ
ヌトカ、斯ウ云フ點ハ斯ウ云フ風ニシナケ
レバナラヌトカ言ハレテ居タ從來ノ考へ
方ハ、此事變ニ依ツテ相當變ヘラレナケレ
バナラヌノデヤナイカト云フヤウナ意味ノ
コトヲ申上ゲマシタ、隨テ其中ニ於テ強化
サレナケレバナラヌ點モアルデアリマセウ
シ、或ハ除カナケレバナラヌ點モアルカト
思フノデアリマス、サウ云フ意味デ事變並
ト同様ナモノガ其儘出來上ツテ行クダラヌ
ト云フコトニ對シテハ、ハッキリ此處デ申

○上田委員 私ハ極ク簡単デスガ、昨日農林大臣ノ私ノ質問ニ對スル御答辯ガ、洵ニ満足スルコトガ出來ナカッタノデアリマスカラ、私御警告的ニ簡單ニ申上ゲテ置キタ

提案ニナリ、又政府トシテ指導スベキモノハ指導シ、或ハ懇談スベキモノハ懇談ヲシ、協議スベキモノハ協議フシテ御進ミナルノガ當然デアルト私ハ考ヘマス、然

ゲマシタコトガ不徹底デアリ、御理解ガ得
ラレナカッタト云フコトハ、甚ガ遺憾ナノ
デアリマスガ、私ノ申シ方ガ悪カッタカト
思フノデアリマスガ、決シテ私ハ調査會ヲ作

タノデアリマシテ、或ハ又御諒解出來ニカ
イカモ知レマセヌガ、私ハサウ云フ意味ノ
コトヲ申上ゲタ積リデアリマス

法律案ニ付テ、唯一點農林大臣ニ御尋ヲシテ、言明ヲ得タイト存ジマス、ソレハ此法案ノ第二條ニ於キマシテ、米價ガ標準最高價格ノ一定割合ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限ツテ買上ヲスルノダ、斯ウ云フコトニ規定サレテ居リマス、所デ其所謂標準最高價格ノ一定割合トハドノ邊デアルカト云フコトニ付キマシテ、参考ニ配付セラレマシタル米穀ノ應急措置ニ關スル法律案勅令事項ノ第二條ノ第一項ニ關スル第二號トシテ、最高價格ノ下値、伏字デ何割ニ相當スル價格以下ナル場合ニ限ルコトシテ、此伏字ノ所ニハ何カ文字ガ入ル、ソコデ御尋致シマスコトハ此伏字ニナッテ居リマスル何割ト云フモノハ、大凡如何ナル程度デアルト云フコトニ御豫定ニナッテ居リマスカ、ソレヲ此機會ニ確メテ置キタイノデアリマス

マスルノデ、此程度如何ニ付テハ、私達ノ見ル所又大臣ノ今仰セラレタ程度デ、蓋シ適當デアラウト考ヘテ居リマス、併ナガラ愈々之ヲ御決定ニナルニ當ツテハ、恐ラク種々ナル意見モ出ルコトデアラウト思フガ、私達ガ凡ソ適當デアラウト今伺ッタ此程度デ、ドウカ完全ニ其主張ノ通ルヤウニ御盡力ノ程ヲ、特ニ此機會ニ御願ラ致シマスシテ、私ノ質問ヲ終了致シマス

○高橋委員長　此場合平野力三君カラ議事進行ニ付テ發言ヲ求メテ居ラレマス、之ヲ許可致シマス

○平野委員 昨日三宅君ノ質問ノ中ニ、重要肥料統制法ハ肥料製造會社ニ付テ製造ヲ命ズルコトガ出來ルノダト云フ議論ヲサレマシタ、之ニ對シテ政府ハサウデナイト云フ御答辯ガアツテ、此點ハ甚ダ明確ヲ缺イテ居ルト思フノデアリマス、是ハ法律デアリマスカラ、意見ノ相違ト云フコトハナイ筈デアリマスガ、何レガ正シイノデアルカト云フコトヲ、一ツ此席上ニ於テ御明確ニ願^メ

○平野委員 然ラバ消極的ニヤルト云フコトニナルノデスカ
○小瀬政府委員 私積極的ニト申シマシタ
ノハ、昨日ノ御話デ當業者ガ減產ノ協定ヲ致シテ參リマシタヤウナ時ニ、其減產ノ協定ニ付テ妥當ナラズト認メマシタ場合ニハ、之ヲ認可承認シナイト云フヤウナコトガゴザイマスガ、是ハサウ云フコトデヤナクテ、當業者ニ對シテ御前ハ幾ラヽ造レト云フコトヲ命ジ得ルト云フ規定ガゴザイヌト、斯ウ申上ゲタ積リデアリマス
○三宅委員 ソレニ關聯致シマシテ火元ガマス所デハ、アノ法案ノ解釋カラ行キマシテ置キタイト思フノデアリマス、私ノ考ヘマス所デハ、アノ法案ノ解釋カラ行キマシテ、只今高田委員カラ御質問ニナリマシタヤウニ、一例ヲ採リマスナラバ昭和肥料ニ於テ電動機十臺アリマス中ニ於テ、三臺シカ電動機ヲ動カシテ居ラナイ、ソレハ要スルニ冬期ノ場合過剩電力ガ少ナイ爲ニ、一厘カ二厘、或ハ一分カ二分カモ知レマセヌガ「キロワットアワー」ニ對スル電力料ガ高イ、其爲ニ相當ナ「キロ」ヲ持ッテ居リマス電動機ガ十臺アリマス中ニ、三臺シカ動カシテ居ラナイ、アト七臺ヲ使ハセマスナラバ明白ニ、モウ少し増産ガ出來ル、電氣モ

一ツノ生産費ノ一部デアルカラ、三臺シカ
フコトヲ今日ノ法律ニ於テハ指ヲ咥ヘテ黙ツ
テ居ラナケレバ、ナラヌカ、私ノ解釋ヲ以
テスレバ、其際ニ於テ明ニ損ヲシテ行クト
云フ場合ナラ別問題デアルガ、生産費ノ爲
ニソレノ調査ガアツテ、六十圓乃至七十圓ト
云フ生産費ガ出テ來タ、昭和肥料ノ如キハ
私共ノ知ツテ居ル範圍ニ於テハ、六十圓ヨリ
モモット安イ生産費デアルト考ヘテ居リマ
スガ、假ニ政府ノ方デ御調査ニナリマシタ
ヤウナ六十圓ノ生産費トシテ、或ハ少し電
力ノ高イモノハ七十圓ニナルカモ知レマセ
ヌガ、併ナガラ七十何圓デアツテモ引合フヤ
ウニ、公定價格ヲ決定サレテ居リマス以上、
獨占利潤ヲ確保スルコトハ出來ナイトイシテモ、
適當ナル利潤ト云フモノハ當然興ヘラレテ居ナ
ケレバナラヌ、サウ云フ際ニ三臺シカ使ハズニ
七臺遊バシテ居ルト云フ時ニ、現在ノ肥料統
制法デ増産ラ命ズル權限ガナイト云フコト
ハナイ、サウ云フ卑屈ナモノデハナイト考
ヘルノデアリマシテ、サウ云フ際ハ遊バ
セズニヤレト云フコトヲ命ジ得ルト云フ
意味ニ於テ、相當積極的ニ解釋ヲ爲スベ
キデアル、爲スコトガ社會常識上適當デア
ルト考ヘルノデアリマス、新シク工場ヲ造

ルト云フコトナラバ、一年カ二年カ掛リマスガ、今申シマシタ電氣ノ理由ニ依ッテ遊バセル、特ニ酷イ場合ハ——野中君ナドモ言ツテ居ラレマスシ、私共モ頻々ト耳ニ入ツ附ケテ仕事ヲ休ム、之ニ對シテ商工省ノ統制力ト云フモノハ甚ダ稀薄デアル、斯ウ云フ點ニ付キマシテ私共ハ現行ノ電氣事業法ヲ以テシテモ、社會通念上氣魄ヲ以テ御監督ニナリマスナラバ、相當ニ増産ヲサセル餘地ガアルシ、ソレヲヤルコトガ法律上ノマス、其點ニ付テ、モウ少シ一つ御親切ナル御解釋ヲ御願致シタイト思ヒマス

○黒田政府委員 私カラ御答申上ゲマス、只今ノ御質問ニ對シマシテハ、昨日モ一寸御答ヲ申シマシタノデゴザイマスガ、製造業者ニ對シマシテ積極的ニ増産ヲ命ズルコトガ、法律上出來ナイト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ設備ノ増設ヲ命ジタリ、新設ヲ命ズル、設備ノ改良ヲ命ズルト云フヤウナコトニ付キマシテハ、法律上サウ云フ規定ニナツテ居ラナイ、斯ウ云フ意味デゴザイマシテ、只今御尋ノヤウナ現在ノ設備デ尙ホ遊バシテ居ルノガアルノデヤナカラウカ、

ソレヲ活動サセルト云フヤウナ意味ニ於テ、現行法ニ於テ何カ命ズル規定ハナイカ造總數量トカ、組合ニ對スル割當トカ云フモノヲ決定ヲスル、サウ云フ組合ノ仕事ニ對シテ政府ガ監督ヲ致シテ居リマスカラ、ソレガ適當デナイ、モット生産ヲスル餘地ガアルノダト云フヤウナ場合ニ於テハ、其ノ變更ヲ命ズルト云フヤウニ、法ノ運用ニ依リマンテ御話ノヤウナ事實ガアリマスレバ、之ヲ働くセレト云フコトハ出來ルノデアリマス

○三宅委員 私ハ昨日モ申シマシタ、其點ヲ高田委員カラモ御突込ニナッタノデアリマスガ、私共ノ常識カラ考ヘマスト、今申シマシタヤウナ事例、其他ニ於テドウシテモ肥料會社ハ「フル」ニ生産力ヲ活躍シテ居ラナイ、若シ明白ニ「フル」ニ活躍シテ居ルナラバ——私昨日モ申シマシタガ、或ル有力ナル鑛山ニ於テ硫化鐵其他ガアルカラシテ、「フル」ニ活躍シテ居ルト云フコトナラバ、一つ硫安ノ工場ヲ作リタイト云フ希望ノアリマスコトヲ、的確ナル筋カラ承知シテ居ルノデアリマスカラ、其點ニ付テ其鑛山自體モ、資本家同志ノコトデ、

蛇ノ道ハ蛇デ「フル」ニ使ツテ居ラナイト
云フ確信ヲ持ツテ居リマシテ、其爲ニ新設
計畫ヲ躊躇シテ居ルト云フ事實ガアルヤウ
員カラモ十分ニ御希望アリ、御突込ニナリ
マシタカラ、特ニ政府ノ答辯ヲ求メヨウ
トハ思ヒマセヌケレドモ、私共知ラヌハ
亭主バカリナリデ、實際ハ「フル」ニ
使ツテ居ラナイ、マダ～生産ノ餘地ガ
アルト云フ事實「フル」ニ使ツテ居ルノデ
ハナクテ、日本ニ於ケル需要ガアルナラ
バ、新シイ工場モ作リタイト云フ希望ノア
ル資本家等モアルト云フ事實ニ付キマシテ
ハ、是ハ的確ナル事實デゴザイマスノデ、
其點ヲ一つ農林、商工兩當局ニ於カレマシ
テモ御含ミノ上デ、多少ノ電力ニ付テノ補
助ガ必要ナラバ、必要ナリト御考慮ニナリ
マシテ、積極的ニ増産ガ出來マスヤウニ御
配慮ガ願ヒタイ

○小串委員 私ハ米穀ノ應急措置ニ關スル
分ケテ致シタ方が便利グラウト思ヒマス、
米穀應急措置ニ關スル法律案ヲ先づ議題ニ
供シマス

○伊藤委員 民政黨ヲ代表致シマシテ只今
ノ小串サンノ附帶決議ニ、満腔ノ贊意ヲ表
シマス

一 政府ハ應召軍人ノ遣家族ニ對スル拂
下米ノ手續ヲ簡易ニシ價格ヲ低廉ナラ
シムルヤウ措置スヘシ

此一ツノ附帶決議ヲ附セントスル者デアリ
マス、昨日來此席上ニ於テ同僚ノ各位ガ、
色々御質問ナリマシタ其御希望御趣意ガ、
要スルニ此決議ヲ必要トスルト信ズルノデ
アリマス、詳シイコトハ既ニ論議サレタ後
デ、理由ヲ申上ゲル必要ハアリマセヌガ、
ドウカ此附帶決議ヲ附シテ原案ニ贊成致シ
タイ、斯ウ云フ考ヲ持ッテ居ル者デアリマ
ス、滿場ノ御贊成ヲ願ヒマス

一 政府ハ本法ニ依ル米穀ノ買上ヲ力メ
テ多量ニシ時局ニ對スル措置ニ付遺憾
ナキヲ期スヘシ

議ノ文章ハ 附帶決議

<p>○高橋委員長 先程委員長ヨリ宣言致シマ シタ兩案ヲ別々ニ討論ニ入ル旨ヲ申シタノ ハ、議事ノ進行上宜シクナイト考ヘマスカ ラ、之ヲ取消シマシテ、兩案ヲ一括議題ニ 供シテ討論ニ入ルコトニ致シマス、其旨御 含ミヲ願ヒマス</p> <p>○岡田委員 此場合臨時肥料配給統制法案 ニ對スル態度ニ付キマシテ、民政黨ヲ代表 シテ意見ヲ申述ベタイト思ヒマス、即チ私 共ハ本案ニ對シマシテ一つノ附帶決議ヲ附 シマシテ原案ニ賛成ヲ致シタイト思フノデ アリマス、附帶決議ヲ朗讀致シマス</p> <p>附帶決議</p> <p>本法ノ施行ト共ニ政府ハ左ノ事項ヲ實施 スヘシ</p> <p>一 政府ハ速ニ硫安ノ國內増産ノ措置ヲ 講シ力メテ其ノ自給自足ヲ計ルヘシ</p> <p>一 政府ハ公定價格ト消費者ノ購買價格 トノ差額ヲ力メテ僅少ナラシムルヤウ ニ措置スヘシ</p> <p>一 政府ハ此ノ際自給肥料ノ増産計畫ヲ 樹立シ之ヲ徹底的獎勵ヲ爲スヘシ</p> <p>以上三ツノ項目デアリマス、而シテ本案 ニ對スル賛成ノ意見ニ付キマシテハ、此 際多言ヲ要シナイコトカト思フノデアリ マス、言フマデモナク今回ノ臨時肥料配</p>	<p>給統制法案ハ、曩ニ定メマシタ重要肥料業 統制法案ノ一大缺陷ヲ補填致シマシテ、殊 ニ今回ノ事變ニ鑑ミマシテ、之ニ對シテ緊 急適切ナル所ノ處置ヲ講ゼントシテ、是ガ 提出ヲ見タ次第デアリマシテ、政府ノ提案 趣旨トシ、且ツ又目的トスル所ニ付キマシ テハ、洵ニ至當ナルモノト致シマシテ、 之ヲ是認スル次第デアリマス、又其手段 方法、即チ内容ニ至リマシテモ、慨ネ先 以テ焦眉ノ急ヲ救フニ適スルデハナカラウ カト思ヒマス、唯願ハクバ之ガ運用ヲ適切 ニ附サレマシテ、眞ニ此肥料ノ需給ノ圓滑及 ビ價格ノ公正ヲ圖ルニ遺憾ナキヲ期セラレ タイコトヲ望ム次第デアリマス、目今ノ肥 料界ノ情勢ニ付キマシテハ、多ク申上ゲル ニ及ビマセヌ、兎ニ角折角定マリマシタ所 ノ硫酸「アンモニヤ」ノ公定價格ノ如キモノ ガ定メラレタニ拘ラズ、實際ノ市場相場ハ 之ヲ上廻リ致シテ居リマシテ、消費者即 チ農民大衆ニ對シマシテ、非常ナ負擔苦痛 ヲ與ヘツ、アルヤウナ情勢デモアリ、隨テ 又重要肥料業統制法案ノ權威ヲ失ハシメ、 其效果目的ヲ更ニ發揮シ得ナイト云フコ トハ、一ヘ以テ法案自體ノ缺陷デアッタデア リマセウガ、併ナガラ其間ノ措置ニ付テ少 シク顧ミテ見マスルナラバ、私共ハ政府當</p>
<p>局ノ今日マデニ至ル所ノ其間ニ於ケル措置 其モノニ付キマシテモ、甚ダ満足シ難イ幾 多ノ事例ヲ見テ居ルノデアリマシテ、此點 ニ付キマシテハ質問ノ際ニ於キマシテ、各委 員ヨリシテ十分之ヲ難詰致シテ居ル 次第 テモ宜シク此輿論ノアル所ニ察知セラレマ シテ、過去ニ於ケルガ如キ運用ニ甚ダ手緩 イト云フヤウナ扱ヒ方ヲ爲サラズニ、一段 ニ附サレマシテ、眞ニ此肥料ノ需給ノ圓滑及 ビ價格ノ公正ヲ圖ルニ遺憾ナキヲ期セラレ タイコトヲ望ム次第デアリマス、目今ノ肥 料界ノ情勢ニ付キマシテハ、多ク申上ゲル ニ及ビマセヌ、兎ニ角折角定マリマシタ所 ノ硫酸「アンモニヤ」ノ公定價格ノ如キモノ ガ定メラレタニ拘ラズ、實際ノ市場相場ハ 之ヲ上廻リ致シテ居リマシテ、消費者即 チ農民大衆ニ對シマシテ、非常ナ負擔苦痛 ヲ與ヘツ、アルヤウナ情勢デモアリ、隨テ 又重要肥料業統制法案ノ權威ヲ失ハシメ、 其效果目的ヲ更ニ發揮シ得ナイト云フコ トハ、一ヘ以テ法案自體ノ缺陷デアッタデア リマセウガ、併ナガラ其間ノ措置ニ付テ少 シク顧ミテ見マスルナラバ、私共ハ政府當</p> <p>第一ニ掲ゲマスル所ノ硫安ノ國產增産ノ 措置ヲ講ジ宜シク自給自足ノ域ニ進マシム ベシ、此意味合ノコトハ是レ亦多ク説明ヲ 申上グル必要ハナイト存ジマス、唯今モ高 田委員或ハ三宅委員等カラシテ、言ヲ極メ テ適切ナル所ノ此點ニ付キマシテ論議ヲ致 デアリマスルガ爲ニ、現當局ニ於カレマシ テモ宜シク此輿論ノアル所ニ察知セラレマ シテ、過去ニ於ケルガ如キ運用ニ甚ダ手緩 イト云フヤウナ扱ヒ方ヲ爲サラズニ、一段 ニ附サレマシテ、眞ニ此肥料ノ需給ノ圓滑及 ビ價格ノ公正ヲ圖ルニ遺憾ナキヲ期セラレ タイコトヲ望ム次第デアリマス、目今ノ肥 料界ノ情勢ニ付キマシテハ、多ク申上ゲル ニ及ビマセヌ、兎ニ角折角定マリマシタ所 ノ硫酸「アンモニヤ」ノ公定價格ノ如キモノ ガ定メラレタニ拘ラズ、實際ノ市場相場ハ 之ヲ上廻リ致シテ居リマシテ、消費者即 チ農民大衆ニ對シマシテ、非常ナ負擔苦痛 ヲ與ヘツ、アルヤウナ情勢デモアリ、隨テ 又重要肥料業統制法案ノ權威ヲ失ハシメ、 其效果目的ヲ更ニ發揮シ得ナイト云フコ トハ、一ヘ以テ法案自體ノ缺陷デアッタデア リマセウガ、併ナガラ其間ノ措置ニ付テ少 シク顧ミテ見マスルナラバ、私共ハ政府當</p>	

所ノ御考ヘ方ニ對シマシテハ、甚ダ遺憾ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマス、思フニ此非常時ニ際シマシテ、所謂戰時的、動員的氣分ヲ以テシマスルナラバ、今日ノ既成ノ設備ト雖モ、其能力ヲ一割若クハ二割、セメテ五分程度ノ増産ヲ計畫シマスト云フガ如キコトニ對シテハ、之ヲ全然爲シ得ナイ所デアルト云フコトヲ言ヒ切ルト云フコトハ、甚ダ以テ私ハ是ハ妄斷ニ過ギハセヌカト思フノデアリマス、勿論技術ノ進歩向上ニ俟タネバナラヌコトモアリマセウ、併ナガラ或ハ又種々ナ設備ノ安排、工夫、努力、熱、勵キ其モノニ依リマシテ、現在ノ設備ヲ相當程度ニ之ヲ一層生カシテ働くシメ、而シテ多少ナリトモ、即チ三万廻デモ五万廻ナリト雖モ、茲ニ硫安ノ増產ガ出來得ナイナドト云フコトハ、常識上ドウシテ考ヘラルデアリマセウ、私ハ或ハ事業家ノ愛國心ニ訴ヘ、此國家總動員的立場ニ居リマスル所ノ現在ニ於テ、政府其モノサヘ意ヲ決シテ、本當ニ覺悟ヲ決シテ切ニ當業者ニ此點ヲ訴ヘルナラバ、必ズヤ三万、五万位ノ程度ノ増産ヲ爲シ得ナイナドト云フコトハ、考ヘラレナイ所デハナカラウカト思フノデアリマス、左様ナ次第デアリマスルカラシテ、苟モ此硫安ノ問題ガ、畢竟スルニ供給

不足ニ原因ヲ發シマシテ、或ハ値段ノ暴騰ガ憂ヘラレ、或ハ値段ノ様々高低波瀾ヲ演ゼラル、今日ニ於キマシテ、第一ニ考フベシテハ、先刻ノ御答辯ニ於テハ十分此趣意キハ言フ迄モナク國內生產ノ動員デナケレバナラナイ、擴充デナケレバナラヌト思フ、デアリマスルカラシテ、新規ナ設備ヲ以テスルト云フコトハ、或ハ二年、三年ノ年月ヲ要スルト云フコトモアリマセウカラ、所謂恆久對策ニ屬シマセウ、應急ノ措置ト致シマシテハ、現在既成ノ設備ヲ只今申上グル通リ動員致シマシテ、出來得ル限り、能フ限リ努メテ茲ニ國產ノ增加ヲ圖ルト云フコトハ、先ヅ第一ニ考フベキコトデニ、此點ハ恐ラク此問題ニ絡マツテ最モ重大ナル問題デアリマスカラ、而シテ又私共トシマシテハ、一番此問題ニ絡マツテドウモ満足シ得ナイ問題デアルト思フノデアリマスカラ、ドウカ此國民的期待ニ副フヤウニ、此點ニ對スル適當ナ措置ヲ講ゼラレンコトヲ望ム次第デアリマス

第二ニハ、政府ハ公定價格ト消費者ノ購買價格トノ差額ヲ力メテ僅少ナラシムルヤウ措置スベシト云フ點デアルノデ、只今申シマシタ通り、今日ハ公定價格ナルモノハ三圓五十八錢ト云フヤウナコトニ定メライカト、吾々ニハ感ゼラレルノデアリマス、今日ト雖モ決シテ敢テ遲シトハ申セマヽ、遺漏ガアッタ申シテモ宜イノデハナシマシテハ、相當ニ規定ガ備ッテ居ルヤウデモアリマスカラシテ、ドウカ此規定ヲ活用シマシテ居ルト云フコトヲ感ゼザルヲ得ナシテ、而シテ之ヲ措置スルコトモ一分ノ措置ヲ講ジテ戴キタイノデアリマスシ、已ムヲ得ズンバ或ハ暴利取締令等ノ發セラレマシテ、巧ニ運用セラレマシテ、十分ニ俟ッテ、而シテ之ヲ措置スルコトモ一案デアルト存ジマス、何レニ致シマシテモ此點ハ極メテ重要ナル問題デアリマスカラシテ、ドウカ此中間利得ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、此時局ニ鑑ミマシテ極メテ之

ル所ノ目的ヲ達成スル様、御努力ヲ煩シタインデアリマス、幸ニ農林大臣ニ於カレマラシムルト云フコトデアリマス、生産者、製造者カラシテ唯此肥料ノ値段ガ幾ラデアホドウデモ宜イコトデアッテ、最後ノ購買價格ノモノガ重大ナ關係ヲ持ツモノデアリスカラシテ、淘ニ左様ナ御精神ヲ提ゲラマシテ、ドウカ一段ト此點ノ御努力ヲ願ヒ、此點ハ恐ラク此問題ニ絡マツテ最モ重大ナル問題デアリマスカラ、而シテ又私共トシマシテハ、一番此問題ニ絡マツテドウモ満足シ得ナイ問題デアルト思フノデアリマスカラ、ドウカ此國民的期待ニ副フヤウニ、此點ニ對スル適當ナ措置ヲ講ゼラレンコトヲ望ム次第デアリマス

第一ニハ、政府ハ公定價格ト消費者ノ購買價格トノ差額ヲ力メテ僅少ナラシムルヤウ措置スベシト云フ點デアルノデ、只今申シマシタ通り、今日ハ公定價格ナルモノハ三圓五十八錢ト云フヤウナコトニ定メライカト、吾々ニハ感ゼラレルノデアリマス、今日ト雖モ決シテ敢テ遲シトハ申セマヽ、遺漏ガアッタ申シテモ宜イノデハナシマシテハ、相當ニ規定ガ備ッテ居ルヤウデモアリマスカラシテ、ドウカ此規定ヲ活用シマシテ居ルト云フコトヲ感ゼザルヲ得ナシテ、而シテ之ヲ措置スルコトモ一分ノ措置ヲ講ジテ戴キタイノデアリマスシ、已ムヲ得ズンバ或ハ暴利取締令等ノ發セラレマシテ、巧ニ運用セラレマシテ、十分ニ俟ッテ、而シテ之ヲ措置スルコトモ一案デアルト存ジマス、何レニ致シマシテモ此點ハ極メテ重要ナル問題デアリマスカラシテ、ドウカ此中間利得ト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、此時局ニ鑑ミマシテ極メテ之

ヲ制限セシムル所ノ措置ヲ講ジ、ドウカシテ此一般ノ農民ノ手ニ本當ニ安イ肥料ト云フモノガ、定メラレタ公定相場ヲ基準ト致シマシテ、而シテ手ニ入り得ルヤウナ措置ヲ、御願スルヤウニ致シタイト思フノデアリマス

第三ニハ政府ハ此際自給肥料ノ増産計畫ヲ樹立シ、是ガ徹底的獎勵ヲ爲スベシ、此點デアリマス、是亦私ガ申上ダル必要ハゴザイマセヌ、併ナガラ今回現レマシタ政府ノ豫算案或ハ又本案ニ絡ツタ御説明等ヲ伺ヒマスル所、自給肥料即チ堆肥、綠肥等ニ關スル所ノ政策ニ付キマシテハ、殆ド見ルベキモノガナイカノ如ク思フノデアリマス、緊急ノ處置トシテ僅ニ既成豫算ノ一部ヲ割イテ、以テ之ニ對スル所ノ指導的費用ニ充テラレルト云フヤウナコトガアリマシタコトハ、セメテモ幸ヒトスル所デアリマスガ、併シ今日肥料ノ問題ヲ考ヘテ見マスル時ニハ、斯様ナ生温イ問題ヲ以テ此問題ヲ放置スベキモノデハナイト存ジマス、一面ニ於テハ多數ノ馬ガ徵發セラレ、而シテ爲ニ必要ナ自給肥料ノ一大缺陷ヲ來サウト云フヤウナコトガ、明ニ憂ヘラレテ居ル際デアリマス、一面ニ於テハ多數ノ壯丁ガ應召出征ノ狀態ト相成リマシテ、所謂勞力ノ不足ヲ來タスト云フヤウナ狀況ニアルノデアリマ

ス、而シテ他面又販賣肥料ハ極メテ其價格ガ高イト云フヤウナ狀態デアリマス、ドウ考ヘテ見マシテモ、ドウカシテ茲デ自給肥料ニ對シマスル獎勵ヲ一段トセラレマシテ、而シテ是ガ徹底的獎勵ヲ御願セザルヲ得ナイノデアリマス、之ニ對シマシテ豫算上ニ於テモ、何等計畫モアリマセヌシ、實際上ノ計畫モナイヤウデアリマスカラ、ドウカ此際十分此點ニ考慮ヲ廻ラセラレマシテ、之ニ對スル措置ヲ講ゼラレンコトヲ望ム次第デアリマス、以上ノ次第デアリマシテ、私共ガ本案ニ贊成致シマスルト同時ニ、此附帶決議ニ關スル條項ハ、政府ニ於キマシテモ願クバ之ニ同意ヲ表セラレ、而シテ徹底的實施ヲセラレルヤウ希望シテ已マナイ次第デアリマス

○東郷委員 私ハ立憲政友會ヲ代表致シマシテ、只今上程ニナツテ居リマスル米穀ノ應急措置ニ關スル法律案、及ビ之ニ對スル岡田君御提案ノ附帶決議ニ、併セテ贊成致ス者デアリマス、私ハ此場合少シバカリ贊成ノ理由竝ニ所見ヲ申上ゲテ置キタイト存ジマス、昨日ノ夕刊、今朝ノ新聞等ニ、上マ匹ヲ徵發サレテ居ルト云フコトガ、直ニ農村ノ生産力ノ中心デアリマス、其生産力ノガ徵發サレテ居ル、是等ハ言フ迄モナク農村ハ多數ノ將士ガ召集ニ應ジ、多數ノ馬匹メダト存ジマス、私ガ申上ゲル迄モナク、農ケレバナラヌコトデアリマスガ、特ニ私共ガ痛切ニ考ヘルノハ、農村ニ對スル銃後ノ努力メダト存ジマス、私ガ申上ゲル迄モナク、農村ニ生産力ノ中心デアリマス、其生産力ノガ徵發サレテ居ルト云フコトガ、直ニ農村ノ生産ニ多大ナル影響ヲ及ボシテ參リマス、又一面ニ於テハ必要ナ食糧問題ノ鍵ヲ

ノ物資ノ供給等、考ヘテ見レバ、特ニ此事變ニ對シテハ、農村ニ對スル對策ガ誤リナキヲ期セナケレバナラナイ、是ハ私ガ申上ニ集中シテ、君達ガ死ンデモ大丈夫ト云フ、國民ノ力強イ聲ヲ戰線ニ響カセテ欲シイ、其聲サヘハッキリ聞イタラ、兵達ハ遺憾ナク通リダト存ジマス、私達ハ戰地ノコトハ光輝アル我ガ皇軍ヲ信賴シテ御任セシテ置ケバ宜イト思フ、吾々國民ノ任務ハ此將兵達ノシテ後顧ノ憂ナカラシムル、謂ハゞ銃後ノ護リヲ遺憾ナク徹底セシムルト云フ點デアルト思ヒマス、而シテ此問題ハ單ニ農村ダケデハアリマセヌ、日本全國津々浦々ニアルト思ヒマス、又國民ノ各階層ニ向テヤラナ至ルマデ、又國民ノ各階層ニ向テヤラナケレバナラヌコトヲ吾々ハ發揮サレツ、アルコト存ジマス、或ハ又馬匹ノ徵發ノ善後策ニ關シテモ、ソレゞ、政府ハ相當ナ施設ヲ豫算等ニモ計上サレテ居リマス、又勞力不足ノ問題ニ對シテモ、政府ハ此度ノ追加豫算ニ計上サレタコトヲ吾々ハ發見致シテ居ルノデスガ、サウ云フヤウナ問題、或ハ租稅ノ減免ノ問題等、幾多應召者ノ遺家族ニ對スル問題ハアリマス、其中デモ一番大切ナ問題ハ、勞働ノ問題デアリマスガ、併シ此問題ハ私先般特別議會終了後直チニ郷里ニ歸リマシテ、郷里ノ各町村ヲ巡廻致シテ、此非常時ノ地方農村ノ實情ヲ調べテ參リマシタガ、是ハ直チニヤツテ居リマス、所謂隣保共助ノ精神カラ、有ユル團體ナリ、或ハ其他ノ色々ナ機關ガ、應召者ノ農耕作等ニ關

スル勞働力不足ニ對シテハ、遺憾ナキ援助ヲ與ヘテ居リマス、又我國ノ農村ノ人口ト土地ノ關係カラ考ヘテ見マシテモ、斯ノ如キ隣保共助ノ精神ニ出發シテ、適當ナコトヲスルナラバ、私ハサウ心配ハ要ラヌ問題デアルト思フ、是等ハ飽マデモ努力シナケレバナラヌコトデスガ、更ニソレヨリモ必要ナ問題ハ、何ト言ッテモ私ハ農村ノ經濟ノ中心ヲ成シテ居ル所ノ米ノ問題、又軍事上特ニ必要デアル所ノ食糧ノ問題——我國ト致シマシテハ結局米ノ問題ニ歸著致シマス、此米ノ問題更ニ其生産ノ上ニ於テヤラナケレバナラヌ所ノ問題ハ、即チ肥料ノ問題デアリマス、即チ此委員會ニ提出サレタ二ツノ臨時立法ハ、此大切ナ目的ヲ達スル上ニ於テ極メテ大切ナ非常立法デアルコトハ、私ガ申上ゲルマデモアリマセヌ、私ハ常ニサウ申シテ居ルノデスガ、國防ノ充實、或ハ一步進ンデ非常時ニ於ケル戰ヒノ目的ヲ遺憾ナク達成スルノニハ、單ニ陸海空軍ガ充實シテ居ツタダケデハイケナイ、最後ノ勝利ヲ決定スル所ハ食糧ノ問題デアル、故ニ平常ニ於テモ、戰時ニ於テモ、常ニ吾々國民ノ必要トスル所ノ食糧ヲ確實ニ供給シテ行クト云フ國策カラ出發シテ、總テノ問題ヲ解決シナケレバナラナ

即チ國防ノ第一線ハ農村ニアルノダ、色々
ナ理由ガアリマスケレドモ、其中デ最モ重
キヲ置クベキ問題ハ、食糧ノ自產自給ノ問
題デアリマス、先程農林大臣ガ此點ニ於テ
御所見ヲ御開陳ニナリマシタケレドモ、私
共多年主張スル所ノ意見ト一致シテ居リマ
ス、吾々ハ内地ニ於テ必要トスル所ノ食糧
ハ、内地ニ於テ自產自給ノ途ヲ講ズル、又
外地ニ於テモ同様ナ方法ヲ講ジテ、内外
相應ジテ此大切ナ問題ニ萬遺憾ナキヲ期セ
ネバナラヌト云フ立場カラ、常ニ議論ヲ致
シテ居リマス、農林大臣ガ先程引例サレタ
世界大戰當時ノコトヲ考ヘテ見マシテモ、
英吉利ガ内國農業ヲ商工業ノ犠牲ニ供シ
テ、アノ戰爭ノ當初ニ於テ、英吉利國民ノ
必要トスル食糧ノ六分ノ五ヲ海外ニ仰イデ
居ツタト云フコトガ、アノ世界第一ノ海軍國
デアリナガラ、其威力ヲ海上ニ發揮スルコ
トガ出來ズシテ、四年半ノ長キニ瓦ツテ戰爭
ヲ續ケナケレバ、ナラヌ破目ニ陥ツタ原因
ガ、ソコニアル、是ハ吾々ガ他山ノ石トシ
テ大イニ考ヘナケレバナラヌ所デスガ、今
回ノ事變ニ付テ私達ガ考ヘテ見ルト、アノ
世界大戰ノ場合ニ於ケル英吉利ノヤウナ立

居ル所ハ、外地ニ於テ供給シテ居ル、而モ
相手國タル支那ガ海軍ニ於テ何等ノ威力ヲ
持ツテ居リマセヌカラ、之ヲアノ世界大戰當
時ニ英吉利ノ運送船ヲ、獨逸ノ艦隊ガ盛ン
ニ擊沈シタヤウナコトニハ、今ノ所デハ
相成ル豫想ハシナイデ宜イト思フ、サウ
云フヤウナ心配ハアリマセヌガ、併ナガラ
此事變ガ如何ニ發展スルカ、吾々ハ最惡ノ
場合ヲ常ニ念頭ニ置イテ、國策ヲ樹テナケ
レバナラヌノデスカラ、ソレ等ヲ考ヘテ見
タナラバ、私達ハ食糧ノ問題ニ付テ、モット
徹底シタ所ノ方策ガ、此際講ゼラレネバナ
ラスト思ヒマス、即チ今回御提案ニナリマ
シタ米穀ノ應急置ニ關スル此立法ハ、無
論非常立法デアリマス、應急ノ處置トシテ
斯ノ如キ權能ヲ國家ニ賦與スルコトハ、非
常ニ必要ナコトダト私ハ思フ、ダカラ之ヲ
過リナク一ツ御施行ニナルコトヲ要望致シ
テ置キマス、併ナガラ先程農林大臣モ言ハレ
タヤウニ、モット積極的ニ此重大ナ食糧問題
ノ遺憾ナキ解決ニ向ツテ、更ニヨリ以上ノ根
本の方針ヲ講ジテ善處サレンコトヲ、茲ニ
熱望致シテ置キマス

ノ例ヲ申上ゲマシタガ、尙ホ申上ゲテ見レバ、丁度日本ノ今日ノ立場ハ、世界大戰當時ニ於ケル獨逸ノ立場ト稍似テ居ルト考ヘマス、言フ迄モナク獨逸ハ農政其宜シキヲ得テ、食糧ノ自產自給ニ於テハ大體目的ヲ達シテ居ツタ、即チ英吉利ト異ッテ獨逸國民ノ必要トスル食糧ノ六分ノ五ハ、國內ニ於テ生産シテ居ツタ、此優良ナ農村ノ實情ガ、獨逸ガ世界ヲ敵ニ廻シテ周圍ヲ封鎖サレ、糧道ヲ斷タレテ居ルニ拘ラズ、尙ホ四年半ノ長キニ瓦ツテ國家ヲ維持シ得タ有力ナ原因ノ一ツ考ヘマスガ、而モ其獨逸ニシテ尚且ツ最後ニハ食糧ノ缺乏ニ依リ、國民ノ食フベキモノガ無クナリ、即チ第一線ニ於テ戰フ所ノ兵士ハ、滿腹スルマデニ食べテ能ク戰ヒ、能ク勝ツタケレドモ、其他ノ國民ハ空腹ト戰ツテ勝ツコトガ出來ナカッタ、是ガ獨逸ガアノ戰爭ニ負ケタ根本ノ原因デアルコトヲ私ハ確信致シマス、先程申シマシタヤウニ大戰當初ニ於テ非常ニ優良ト言ハレテ居ツタ獨逸デアリナガラ、アノ非常時ニ際會シテ、一年三年四年ト戰ヒヲ續ケテ行ク中ニハ、良好ナ狀態モ段々悪化シテ來タ、即チ國家非常時ニ際會テ、第一線ニ立ツテ戰フ者、或ハ後方任務

ニ從事スル者等ノ多數ノ人間ガ、農村ヲ去
ラナケレバナラヌ、即チ農村ニ於ケル勞
力ノ不足ガ、ソコニ生ジテ來タ、アノ學
問ヲ應用スル點ニ於テ世界無比ノ獨逸國
デアリナガラ、尙ホ最後ニハ肥料ノ缺乏
ヲ如何トモスルコトガ出來ナカッタ、即チ
農村經營ガ労力ノ不足、肥料ノ缺乏等ニ依ツ
テ、段々其生産力ヲ減退シテ來テ、遂ニ國民
ノ空腹ヲ如何トモスルコトガ出來ナカッタ、
ソコニ敗戦ノ根本原因ガアルノデス、私ハ
今日ノ事變ヲ世界大戰ノ當時ト比較スルノ
ハ、餘リニモ亂暴デアルト思フ、私ハソレ
程今日ノ事情ハ迫ツテ居ルト思ヒマセス、
併シ先程申シマンタヤウニ、此事變ガ如何
ニ變化シテ行クカト云フコトニ付テ、吾々
ハ慎重ノ注意ヲ拂ツテ、如何ナル最惡ノ場
合ニ遭遇シテモ、之ニ打勝ツダケノ國策ヲ
ソレニハ私ハ先程食糧ノ自產自給ガ非常ニ
必要デアルト申シマシタガ、其目的ヲ達ス
ル根本トシテハ、ドウシテモ肥料ノ問題ヲ
解決シナケレバナラナイ、一面ニ於テハ馬
匹ガ多數徵發サレテ行ク、是ハ畜力ニ於テ
非常ニ不便ヲ感ズルバカリデハナイ、自給
肥料ノ生產ノ上ニモ非常ナ打撃デス、サラ
デダニ我國ハ水田ヲ主トスル農業經營デア

リマスカラ、家畜ノ數ガ少イ、隨テ我國ハ
自給肥料ガ金肥ニ比較シテ少イ、即チ我
ガ日本ノ農業ガ金肥ヲ餘計使フ點ニ於テ、
多ク其比ヲ見ナイト云フ所ニ、非常ナ發達
モアルガ、同時ニ今日經濟上ノ色々ナ惱ミ
モアルノデス、普段デサヘサウデアルノニ、
今回ノ非常時ニ際シテ多數ノ馬匹ガ農村力
ラ微發サレタトスルナラバ、自給肥料ノ獎
勵ハソコニ非常ナ不便ガアリマス、不便ハ
アルケレドモ、之ヲ徹底的ニヤラナケレバ
ナラナイ、即チ私達ガ此法案ニ贊意ヲ表ス
ルト同時ニ、其意味ニ於ケル附帶決議ヲ附
ケル所以デアリマス、即チ今マデノヤウニ
生温イ自給肥料ノ獎勵デハ、到底目的ハ達
シ得ナイ、私モ長イ間役人ヲシテ、サウ云
フコトノ獎勵ニ當ツタ體驗ヲ持ッテ居リマス
ガ、自給肥料ノ獎勵ハ中々困難デアル、此
困難ナ事業モ斯ウ云フ非常時ニ根本ノ方策
ヲ樹テテ、徹底的ニ獎勵シテ行クコトガ、
我國ノ肥料問題ノ缺陷ヲ是正スル途デア
リ、今日ハ其好イ機會デアルト思ヒマス、
故ニ私ハ此意味ニ於テ、ドウカ自給肥料ノ
増産ニ對シテハ、徹底的ナ御計畫アランコ
トヲ茲ニ希望致シテ置キマス

滑ヲ期スル、或ハ價格ノ上ニ於テ適當ナ統制ヲシテ行クト云フ企ヘ、洵ニ結構ナコトデアリ、ソレデナケレバナラヌ措置デアルト考ヘマスガ、昨日カラ今朝ニ掛ケテノ委員諸君ト、政府當局トノ質問應答ヲ拜聽シテ居ツテモ明カデアルヤウニ、ドウモ私ハ政策其モノガ如何ニモ消極的デアル、米ノ問題モ積極的ナ施設ガ見エナイガ、肥料ノ問題ニ付テモ甚ダ其點ガ遺憾デアリマス、即チ今日内國ニ於ケル生産ダケデヘ需要ヲ充タサナイ、殊ニ今度ノ非常時ニ際シテ、硫安ノ製造能力ヲ軍事ノ方ニ振向ケルト云ツタヤウナ必要カラ、寧ロ生産ガ減ジテ來マシタ、ソレ等ノ不足ヲ補フ爲ニ約二千万屯ヲ外國カラ輸入スル、而シテソレニ對シテ補給金ヲ支出スルト云フコトデスガ、非常時ノ應急對策トシテ、ソレハ已ムヲ得ヌカモ知レヌガ、先程來他ノ委員諸君カラモ度々御話ガアツタヤウニ、外國カラ買フト云フコトハ、今日ノ國際貸借ノ關係上カラ見テモ、成ベク避ケネバナラヌ、財政上ノ問題カラ見テモ成ベク避ケネバナラヌノミナラズ、平常ナラ兎モ角モ、非常時ニ於テハ外カラサウ云フ重要ナモノヲ多數仰グト云云フ危險ハ或ハナイカモ知レヌガ、私ハ繰

返シテ申シマスガ、吾々ハサウ云フコトヲ冀
フ者デハナイガ、此時局ガドウ將來變化ナ
スルカ、變化ノ如何ニ依ツテハ硫安ノ輸入モ、
ドウシテモ國內ニ於テ自產自給ノ方策ヲ
立テナケレバナラヌ、而シテ此問題ニ付テ
ハ、昨日來先程マデ色々ノ質問應答ガアッタ
ガ、政府當局ハ現在ノ工場デハ増産ノ餘地
ガナイト云フシ、委員ノ諸君ハ餘地ガアル
デハナイカト云フ質問應答ヲ拜聽致シマ
シテ、私ハヤリ様ニ依ツテハ、現在ノ施設
ニ於テモ増産ノ餘地ガアルヤウニ考ヘマス
ガ、ソレガアルナラバ、速ニ此増産ノ方法
ヲ講ゼラレルコトガ今日ノ急務デス、尙ホ
ソレデモ足ラヌナラバ、私ハ此際至急適當
ナ方法ヲ講ジテ、將來増産ノ計畫ニ向ツテ積
極的ニ邁進アッテ、サウシテ我ガ日本國内
ニ於テ必要トスル所ノ硫安ハ之ヲ自產自給
スル、更ニ進ンデハ海外ニ輸出スルマデノ
力ヲ、此非常時ニ於テ養成シテ行クト云フ
コトガ、此肥料ノ根本政策トシテハヤラ
ナケレバナラヌ重大ナル問題デアルト思
ヒマス、即チ吾々ガ附帶決議トシテ政府ニ
要望スル所以ハ茲ニアルノデアリマス、斯
ク申シテ來ルト此國防上、殊ニ戰時ニ於ケ

ト思ヒマスガ、恐ラク政府當局トシテハ次
ノ議會ニ於テ、更ニ徹底的ナ方策ヲ講ゼラ
レルコトト思ヒマスガ、或ハ事變ニ依ル物
價ノ變動ニ依ヅテ農產物、或ハ林產物、漁產
物等ノ打擊ヲ如何ニ調節シテ行クカト云フ
ヤウナ問題、或ハ戰時ニ伴フ所ノ農漁山村
ノ資金ノ問題等、其他ヲ擧ゲ來レバ經濟上
ニ於テ、或ハ經營ノ上ニ於テ色々ノ點ニ於
テ、徹底的ニ政府ハヤラナケレバナラヌ對
策ガ、殘サレテ居ルト考ヘマスガ、此點ニ
於テハ特ニ考慮ヲ御願致シタイト存ジマ
ス、殊ニ此機會ニ希望ヲ申述べテ置キタイ
コトハ、先程高田委員ノ質問ニ對シテ、大
臣カラ御話ニナリマシタ負擔均衡ノ問題デ
スガ、是ハ吾々此間ノ議會ニ於テモ熱心ニ
主張シタ問題デアリ、昭和十三年カラ之ヲ
實現すべく政府モ努力スルト云フコトヲ聲
明セラレテ居ツタ、然ルニ先程ノ大臣ノ御話
デハ、多少其點ガ緩和サレテ來テ居リヘセ
ヌカト云フコトヲ憂ヘル者デアリマスガ、
私ハ斯ウ思フノデス、非常時ナレバ非常時
ナル程此問題ヲ先以テ解決シナケレバナラ
ヌ、即チ非常時ニハ國民ノ負擔ハ重キヲ加

ヘルコトヲ吾々ハ覺悟シナケレバナラヌ、
重キヲ加ヘルコトハ敢テ之ヲ辭セナイノデ
スガ、併ナガラ其負擔ト云フモノハ、公正
ナ負擔ノ標準ニ依ツテ行カナケレバナラヌ、
然ルニ今日國民ノ有ユル層ヲ見タ時、其基
礎トナルベキ負擔が公正デナイナラバ、先
ヅソレヲ是正シテ置イテ、其上ニ適當ナル
時局ニ要スル所ノ負擔ヲ國民ニ命ズルト云
フコトガ、必要ナコトデアルト思ヒマス、
サウ云フ點カラ考ヘマシテモ、是ハ財政上
ノ問題デアリ、或ハ大藏省、或ハ内務省等
ノ關係デアルカモ知レマセヌガ、農林行政
ノ上カラ、此點ニ於テハ特ニ農林大臣ガ熱
烈ナル意氣ヲ以テ、善處サレンコトヲ此機
會ニ於テ要望致シタイト存ジマス、以上ヲ
以テ私ハ兩案ニ對スル我黨ノ贊成ノ趣意ト
希望ト申上ゲタ次第デアリマスガ、尙ホ
最後ニ政府當局ニ御伺致シテ置キマス、ソ
レハ此兩案ニ對スル附帶決議デアリマス
ガ、此附帶決議ニ對スル政府ノ御所見ヲ適
當ナ機會ニ於テ御披瀝アランコトヲ、此機
會ニ於テ希望致シテ置キマス

附帶決議ヲ附シテ、原案ニ賛成ヲ致スモノ
デアリマス、本法案ハ今時ノ事變ニ際シマ
シテ、米穀及ビ肥料ノ需給ノ圓滑、價格ノ
調整ヲ圖リ、銃後ニ於ケル國民ノ經濟ヲ安
定セシムル爲ニ、臨時應急ノ措置ヲ執ラン
トスルモノデアリマシテ、政府ガ早急ノ場
合、硫酸「アンモニヤ」輸入補償ト相俟ッテ、
本法案ヲ提出セラレタルコトハ、現下ノ
時局ニ即シ、最モ適切ナル對策デアルト思
フノデアリマス、此場合特ニ附言致シタイ
コトハ、臨時肥料配給統制法案ニ付キマシ
テハ、速ニ當業者ノ自主的配給統制機關設
置ヲ督勵サレルト同時ニ、中小肥料業者ノ
商業組合聯合會ノ結成ヲ促進セラレテ「プー
ル」内ニ是ガ加入實現ノ早カラソコトヲ期待
シテ已マナイモノデアリマス、「プール」内
ニ於ケル數量ノ割當決定ニ關シマシテハ、
取引ヲ主眼トスル營業者ト消費實需ニ代表
シテ、累年計畫ノ進展率配給ヲ爲サントス
ル全購聯トノ間ニ、公正妥當ナル割當ヲ
期セラレナクテハナリマセヌ、斯クンテ生
産者ヨリ「プール」ヘ、「プール」ヨリ市場
へ、殊ニ農家ニ配給サレル肥料價格ハ、公
正妥當ナル水準ヲ保ツベク、生産者ノ賣
止、「プール」外ヘノ拔賣、若クハ期間ヲ越

エテノ先物取引嚴禁等ノ、確乎タル取締方策ヲ考究實施サルベキデアルト思フノデアリマス、又此臨機應急ノ措置ニ竝行シテ、重要肥料業統制法ノ根本的改正ヲ爲シ、生産ノ擴充ヲ斷行セラレナクテハ、此重大ナル時局ニ對處シテ肥料價ノ安定ヲ得ルコトガ出來ナイコトハ申スマデモアリマセヌ、現在ノ重要肥料業統制法ハ單ナル「カルデル」的統制デアリマシテ、生産者擁護ニ墮スルノ嫌ヒガアルノデアリマス、即チ技術的進歩、生産費低減、價格水準ノ低下等ニ對スル積極性、指導性ガナインデアリマスカラ、將來ニ向ツテ安價豊富ナル硫安供給ヲ期待スルコトガ出來マセヌ、故ニ少クトモ曾テ六十七議會ニ於テ流產ニナッタ肥料業統制法案ノ如ク、政府ハ生産者ニ對シテ増産、製法改善、不良工場整理等ノ命令監督權ノ積極性及ビ市價ノ統制權確保ニ迄、現統制法ヲ補強スベキデアルト思フノデアリマス、而シテ舊來ノ法ノ運用上ノ缺點タル祕密主義、官僚獨善主義ヲ排除シテ、肥料委員會ノ機能權限擴大ト、常備貯藏ノ徹底ヲ圖リ、現狀維持的勢力ニ強引サレテ、社會正義ヲ歪曲サレルコトナク、公益的統制ノ強化ニ邁進サレテコソ、茲ニ國民ノ要望スル價格低廉、豐富ナル供給、圓滑ナル配

給ヲ得ラレルモノデアルト思フノデアリマス、右希望的賛成意見ヲ申述ベマシテ、賛意ヲ表スルモノデアリマス

○高橋委員長 三宅正一君

私ハ社會大衆黨ヲ代表致シマシテ、「二法案ニ賛成ヲ致シマス、尙ほ附帶決議ニ付キマシテモ賛成ヲ致シマス、唯此際大衆黨ト致シマシテ、二法案ニ對シマシテ希望條項ガゴザイマスルノデ、之ヲ讀上げ肥料ニ關スル希望條項」

一、肥料配給ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、政府ハ毎肥料年度ノ農家ノ肥料實需ニ應じテ、各肥料ノ配給ヲ爲スヤウニ肥料配給統制ノ完全ヲ期セシムベシ
二、肥料販賣ニ際シテハ政府ハ農家賣渡シ更ニ米ノ問題ニ付キマシテ希望條項ヲ讀上げマス
三、政府ハ次期議會ニ肥料ノ軍需的要値(肥料小賣價格)ノ公定ヲ爲サシムベシ
肥料ヲ供給セシムル爲ニ、肥料國營會社案ヲ提出スベシ
是ガ肥料ニ對スル希望條件デアリマス、吾吾ト致シマシテハ今回ノ肥料ニ對スル臨時立法ハ、配給過程ヲ合理化シタト云フ意味ニ於キマシテ、一つノ進歩デアルト考ヘル

ノデアリマス、故ニ此法案ニ付キマシテハ、事變限リト云フコトデナシニ、恒久化サレルコトガ必要ナリト、實ハ考ヘテ居ル次第デゴザイマス、併ナガラ前ニ通リマシタ重

モ設備ノ惡イ會社ノ生產費「プラス」利潤ヲ確保致シマスル所ノ、資本家本位ノ統制ニ墮スルノデアルカラ駄目デアル、今日ノ段階ニ於テハ電力竝ニ肥料ノ國營ヲ斷行致シマシテ、本當ニ豐富ニシテ必要ナル肥料ヲ供給スルコトガ、時局ニ必要デアルト云フコトヲ要望シタノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ一層政府ノ方ニ於カレマシテモ、此本ヲ成シマスル重要肥料統制ニ付テ、百尺竿頭一步ヲ進メラレルコトヲ希望シテ置ク次第デアリマス

更ニ米ノ問題ニ付キマシテ希望條項ヲ讀上げマス
一、時局ニ鑑ミ政府米持高ヲ少クトモ一千萬石ニ増額スルコト
二、米穀需給特別會計ノ基礎ヲ強固ナラシメ、出廻期ノ米價低落ヲ阻止スル爲シ
肥料ニ對スル希望條件デアリマス、吾吾ト致シマシテハ今回ノ肥料ニ對スル臨時立法ハ、配給過程ヲ合理化シタト云フ意味ニ於キマシテ、一つノ進歩デアルト考ヘル

以テ非常時ニ於ケル民本ヲ培養スペシ是ガ希望條項デゴザイマス
私共政府ノ御發表ニナリマシタ七百万石ノ持高ト云フ點ニ付キマシテハ、此非常時局ニ處シマシテ非常ナル危險ヲ感ジテ居ルノデゴザイマス、ソレハ單ニ價格ノ安定ニ付テノ危險ヲ感ズルダケデナシニ、戰爭ガ長引キマシタ後モ社會不安ヲ阻止致シマシテ、銃後ノ護リヲ固メルト云フ意味ニ於

シテハ一層ノ一ツ御配慮ヲ御願シタイト考ヘルノデゴザイマス
尙ほ附帶決議ニ於キマシテ、應召兵士家族ニ對シテ廉價ニ拂下ゲルト云フ附帶決議ガ附イテ居ルノデアリマスガ、吾々ハ特別ナ事情ガアル者ニ對シマシテハ、無償拂下ノ途ヲ開キマスコトガ、是ハ極メテ必要トナルコトヲ考ヘルノデアリマス、同時ニ斯ノ如ク致シマシテ、最低價格デナクテモ買上ゲルト云フ本法ノ運用ニ對シマシテハ、スル米穀專賣制ヲ實施サレルコトガ、私共ハ非常時ニ處シマスル所ノ極メテ必要ナルコトヲ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ對策ナリト考ヘルノデアリマシテ、其意味カラ考ヘマスナラバ、肥料法其モノ竝ニ米ノ法律ト共ニ、私共ニ今日ノ時局ニ對スル認識ト致シマシテハ、不徹底ナル感ヲ免レ

ルト共ニ、買上ノ簡易化ヲ圖ラナケレバ、貧農小農ノ買上ガ駄目ニナルノデアリマスカラ、是ガ簡易化ヲ圖ルコトヲ前々カラ希望シテ居ル次第デアリマス、同時ニ吾々ハ此方策ハ之ヲ恒久化致シマスナラバ、米穀專賣ニ關シマス所ノ非常ナル第一歩デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、私共ハ東鄉委員ノ話デハゴザイマセヌケレドモ、此米穀政策ニ付キマシテハ内地及ビ植民地ヲ通ジマス所ノ一ツノモット徹底シタ法案ヲ必要ト感ジテ居ルノデゴザイマス、即チ地方的ナル標準值ヲ以テ買上ゲル、臺灣ニ於ケル生產費、朝鮮ニ於ケル生產費、日本ノ内地ニ於テモ米作管地帶ト山地ニ於ケル生產費、是ハ色々違テ居リマスガ、是等地方的生產費ヲ標準ニシテ買上げ、之ヲ國民ニ賣下ゲル時ニ於テハ、國民ノ生活費ヲ基準ニ賣出ス、斯ウ云フ一ツノ統制的ナ内地植民地ヲ一丸トスル米穀專賣制ヲ實施サレルコトガ、私共ハ非常時ニ處シマスル所ノ極メテ必要ナルコトヲ考ヘルノデアリマス、斯ウ云フ點ニ對策ナリト考ヘルノデアリマシテ、其意味カラ考ヘマスナラバ、肥料法其モノ竝ニ米ノ法律ト共ニ、私共ニ今日ノ時局ニ對スル認識ト致シマシテハ、不徹底ナル感ヲ免レ

付キマシテ一層一ツ社會ノ安穩ト、生産力
ノ擴充トヲ期スルコトガ出來マスヤウナ拔
本塞源的ナ法案ヲ、次期議會ニハ提出ニナ
ルコトヲ要望致シマシテ、本法案ニ賛成ノ
意思ヲ述ベマス次第デアリマス

是ハ將來國家ノ專賣トシテ、之ニハ一切國家デハ利益ヲ見ズシテ、原價デ提供スルコト迄行カナケレバ駄目ダト思フ、今日ハ既ニ農村ニ於キマンシテ多數ノ出征軍人ガ出テ居リマス、馬匹モ徵發サレテ、自給肥料ハ甚シク減少スルコトヲ豫期シナケレバナリマセヌ、斯カル重大ナル場合ニ於テハ、政府モ重大ナル決意ヲ以テ銃後ノ憂ノナキヤウニ、進ンデ價格ノ低廉ヲ圖ッテ、自給肥料ノ減少ヲ見ナイヤウニ、英斷的ナル御處置ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、此點政府ハ常ニ時局ニ付テ國民ニ重大ナル決意ヲ要望サレテ居リマスカラ、政府自ラガ果シテ重大ナル決意アリヤ如何ト云フコトヲ、此法案ニ付テハ疑ヘザルヲ得ナイノデアリマス、昨日ノ質問デモ價格ノ低廉ト云フコトハ期シ難イ、ノミナラズ今日以上ニ於テ價格ヲ保持スルト云フコトモ、保證シ難イト云フコトハ、洵ニ心細イ次第アリマス、殊ニ政府デハ生産力擴充ト云フコトヲ常ニ仰シヤツテ居リナガラ、此重大ナル疏安ノ、政府自ラ生産力擴充ニ依ル所ノ增產方法ノ具體案ヲ出シ得ナイト云フコトヲ、洵ニ遺憾ニ思フ次第アリマス、此見地カラ申シマスレバ、本案ニハ贊成出來ナイノデアリマスルガ、時局デモアリマスルカラ、不本意ナガラ此際ハ贊意ヲ表シテ置ク次第アリ

リマス、就キマシテハ今後ニ於キマシテ、唯漫然トシテ肥料業者ノ自覺ヲ増スト云フヤウナコトデナシニ、政府ノ斷乎タル決意ヲ以テ、是非共價格ノ低廉ヲ期セラレルヤウ、尙ホ又附帶事項ノ精神ヲ體サレテ、是ガ實現ヲ期セラレルヤウ切望致シマシテ、贊成スル次第アリマス

マスルコトア茲ニ申上ゲテ置キマス
尙ホ御希望ノ條項ニ付キマシテハ、之ヲ
實施シ得ルモノハ勿論御希望ニ副ヒタイト
思ヒマスルシ、尙ホ困難ナルモノニ付キマ
シテハ、ソレドク研究調査ヲ致シタイト思
ヒマス(拍手)

○高橋委員長 直ニ採決ニ入リマス、兩案
ヲ別々ニ採決致シマス、一、米穀ノ應急處
置ニ關スル法律案ヲ議題ニ致シテ採決ニ入
リマス、本案ニ附帶決議ヲ附シテ可決スル
ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔總員起立〕

○高橋委員長 滿場一致、賛成ト認メマス、
仍テ本案ハ可決確定致シマシタ――次ニ
一、臨時肥料配給統制法案ヲ議題ト致シマ
ス、本案ニ附帶決議ヲ附シテ可決スルニ贊
成ノ諸君ノ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○高橋委員長 滿場一致、本案モ可決確定
致シマシタ――沟ニ時日ハ短イ間デアリマ
シタガ、十數時間ニ亘ツテ諸君ノ熱心ナル
御審議ヲ得タコトハ、本委員長ト致シマシ
テハ沟ニ幸ニ存ズルノデアリマス、又國家
ノ爲ニ慶祝措ク能ハザル次第デアリマス、
暑中沟ニ御多勞ノ段ハ敬意ヲ表シマス、之
ヲ以テ閉會致シマス

昭和十二年九月八日印刷

昭和十二年九月九日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局